

平成26年 6月 5日

お知らせ

【同時資料提供先】岡山県政記者クラブ 岡山市政記者クラブ
倉敷市役所記者クラブ



河川堤防に繁茂している**特定外来生物（オオキンケイギク）**防除の新たな取り組みとして「**硫安（肥料）散布**」を実施します

近年、岡山3川（直轄区間）の河川堤防において、特定外来生物であるオオキンケイギクの繁茂が顕著に見られるようになってきており、在来種への影響が懸念されています。

又、除草した刈草をリサイクル化する際においても、事前にオオキンケイギクを除去し焼却処分をしないため、別途処分費用等がかかり、河川の維持管理上支障となっています。

上記現状を踏まえ、今後岡山河川事務所では、オオキンケイギク防除の新たな取り組みとして「**硫安（肥料：硫酸アンモニウム）散布による防除**」を実施することにしました。（具体的内容は別添【概要】を参照）

なお、硫安散布について、下記日程で実施しますので事前にお知らせします。

◆**旭川水系百間川左岸・堤防川側 原尾島橋上流付近**
平成26年 6月 9日（月）9:30～11:00頃
（別添【位置図】参照）

国土交通省岡山河川事務所

問い合わせ先 国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

電話 086-223-5101(代)

副所長(技術) 庄司 俊介 (内線204)

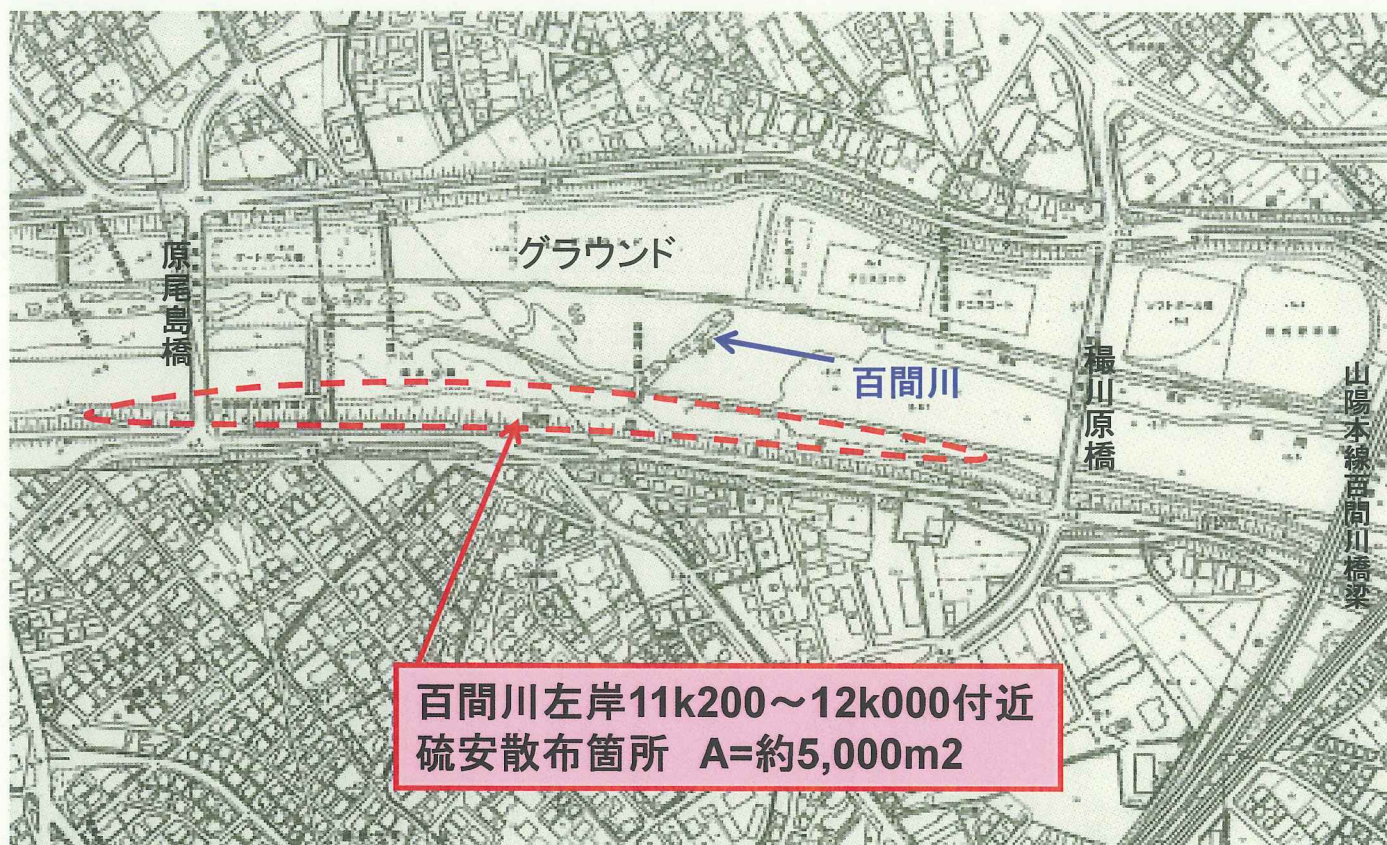
管理第一課長 安達 淳 (内線331)

〔硫安散布実施箇所〕

【位置図】

取材をされる方へ

報道関係の取材の方は、平成26年6月9日(月)9:30~11:00頃、
下記場所で硫安散布を実施しますので、この時間帯にお越し下さい。



旭川での試験施工の様子(H24年度)

※小雨は決行します。
雨天の場合は、「問い合わせ先」に実施の有無を確認
願います。

百間川左岸(上記箇所)の堤防法面の様子
(H26.5撮影)



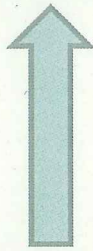
堤防 川表側(除草前撮影)



堤防 川裏側(5月撮影)

【概要】特定外来生物(オオキンケイギク)防除の取り組みについて

【硫酸アンモニウム散布によるオオキンケイギク防除】



花が繁茂する前(種子結実前)の除草作業

硫酸(硫酸アンモニウム)の散布

除草作業後の硫酸(硫酸アンモニウム)散布は2回実施する。

除草(1回目・種子結実前)→**硫酸散布(今回実施内容)**→除草(2回目)→硫酸散布

【昨年度までの硫酸散布の試行について】

岡山河川事務所は、昨年度までオオキンケイギク駆除技術の研究開発について、鳥取大学(農学部:西原英治准教授)との包括協定により研究委託を行っていました。

その研究結果として、除草後の硫酸の施用がオオキンケイギク防除につながるということがわかり、下記場所において試行を実施してきました。

硫酸施用試行箇所の様子(旭川右岸川側・中原橋上流13k900～14k300)



(H25年5月撮影)試験施工区の様子
前年に2回の除草、硫酸施用を実施



(H26年5月撮影)試験施工区の全景

- 今年度の硫酸散布実施箇所(予定)
- 吉井川左岸23k600～27k000付近
(熊山橋上下流付近)約40,000m²
6月7～21日頃実施予定
 - 吉井川右岸15k800～16k000付近
8月上旬頃実施予定
 - 旭川水系百間川(【位置図】参照)

【硫酸(硫酸アンモニウム)について】

園芸用で一般的に市販されている肥料。本取り組みでは、堤防(土壌)に硫酸を散布することにより、在来種(イネ科等)の繁茂を促し、外来種(オオキンケイギク)を排除していく。

※硫酸散布時には、水質調査等も併せて行い、環境への影響を監視します。